

平成30年11月20日(火) 13053号



## 株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043  
 大阪市北区天満2丁目12番3号  
 ヴィレッジリバー南森町3階E号  
 TEL (06) 6353-7831 (代表)  
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001  
 東京都品川区北品川1丁目9番7号  
 トップルーム品川1015  
 TEL (03) 6869-9983 (代表)  
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp  
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)  
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

## 10月亜鉛市況動向 LME在庫急減等材料相場は堅調

## 下旬は中国需要への懸念から下落

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)がまとめた2018年10月の亜鉛市況動向、ロンドン金属取引所(LME)の在庫急減などが支援材料となり、中旬までLME亜鉛相場は堅調な動きとなった。

月初は、2,619.0ドルでスタート、10月前半は小幅な値動きで推移した。LME在庫は10月4日に5,000トンほどの積み増しがあったものの、減少傾向をたどった。一方、中国・上海先物交易所(SHFE)の在庫は10月半ばまでの半月で2.5万トン程増加したことで需給逼迫感が緩和しつつあり、亜鉛相場は2,600.0~2,700.0ドルのレンジで安定した値動きとなった。

中旬にはLME在庫が急減、月初の20万トン超から17日には18万トンを下回り、価格は緩やかに上昇傾向を辿った。19日には中国政府が資金の流動性に問

題を抱えている上場企業に対し支援する方針を表明し、同国内需の拡大が期待されたことも支援材料となり、24日には2,740.0ドルの値をつけた。またLME在庫はその後も搬出が続き、月末には15万トン水準まで減少した。

下旬は、中国国家统计局が発表した同国製造業PMIが低水準だったことから、国内需要への懸念が拡大。価格は2,700ドル弱から2,500ドル台へ急落し、2,590.0ドルで月を越した。

需給動向では、精鉱品位が契約条件に合わなかったとして、豪・ニューセンチュリー社がセンチュリー鉱山の長期契約出荷の開始時期を10月から12月に延期すると10月2日に発表した。また、米・エムパイヤ・ステート鉱山は、10月2日の鉱山内死亡事故により同月22日まで操業停止した。

## 柔軟な働き方・生産性向上へ

## 在宅勤務対象者を拡大

## 住友電工

住友電気工業(井上治社長)が、さらなる柔軟な働き方の実現や生産性の向上などを目的に、在宅勤務制度の対象者を拡大してから1か月が経過した。同社は、利用者の状況等を見ながら今後の制度の改善点等について検討していく考えだ。

今回改訂された制度の対象条件は、◇勤続3年以上◇自律性を持って業務を遂行でき、成果を創出できる◇職場と同等の成果が期待される業務を有し、必要な知識・スキルを保有している◇会社からノートPCが支給、または部門共有のノートPCが使用可能であること◇在宅勤務時の就業場所において、インターネット環境が整備され、業務に専念できる—の5点となっている。

同社は、育児や介護など時間の制約のある社員

## 日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



の就業機会の拡大を目的として、2016年より在宅勤務制度を導入。また、さらなる柔軟な働き方の実現や生産性の向上、優秀な人材の確保などを目的として、2018年1月にテレワークトライアルを実施、2018年7月には東京本社の勤務者を中心に総務省などが主催の「テレワーク・デイズ」に参加し、在宅勤務の対象者拡大に向けた検証を進めてきた。

その結果、「タイムマネジメントの意識向上」や「業務に集中できる」などの一定の効果が確認できたため、5点の条件を満たす従業員を対象に、10月16日より現行の在宅勤務制度を改定した。制度の拡大に当たっては、社外から社内システムにアクセスするツールの改善や運用ルールの策定など、IT環境の整備も進めているとしている。

## EVなど環境対応車用

## セラミック基板を共同開発

## 三菱マテリアル・デンカ

三菱マテリアル（小野直樹社長）とデンカ（山本学社長）は、電気自動車（EV）等の環境対応車のモーター駆動用パワーモジュール向けセラミック絶縁放熱回路基板についての共同開発に合意した。今後、量産化も視野に入れる。

デンカが持つセラミックの材料技術・製造技術と、三菱マテリアルが持つ独自の回路化工程の技術を融合

させ、市場競争力の高いセラミック基板を市場に投入するのが狙い。

自動車モーター駆動用パワーモジュールに使用される絶縁放熱部品として、放熱特性に優れたセラミック基板の需要が伸びている。一方、モーターの高出力化に伴う半導体素子の発熱密度の増大に対応するため、セラミック基板の銅回路を厚くして放熱特性を向上しつつ、熱サイクル信頼性を高めた製品が求められていることから、両者はお互いの強みを生かした製品開発を急ぐ。

## ロスペランプレス銅鉱山の増産プロジェクト承認

## 銅年間6万トンの増産見込む

## 三菱マテリアル

三菱マテリアル株式会社（小野直樹社長）は、さきごろ、同社が権益の10%を間接的に保持しているロスペランプレス銅鉱山（チリ共和国）の増産プロジェクトを承認したと発表した。

同プロジェクトは同社が予てより検討を重ねていたもので、2019年から開始、2021年中頃に工事を完了する。選鉱処理量が19万トン/日になり、銅量は工事後15年間について年間6万トンの増産が見込まれる。生産設備の増強に加え海水淡水化プラントの建設のプロジェクトに含まれており建設費用は約13億米ドル。現在のロスペランプレス銅鉱山年間銅産量は34万4,000トン。

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

## 京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314  
電話 0774-43-6700(代表)

## 2019年3月期第2四半期連結決算

## アーレスティ

アーレスティの19年3月期中間期連結決算は、売上高が前年同期比2.3%増加、一方、営業利益と経常利益は70%を超える減益だった。ダイカスト事業は、日本と北米が微増、アジアが6.8%増えた。一方、日本では燃料費の上昇等、北米では構造改革の遅れ等からそれぞれ損失を計上、アジアも減益だった。

(単位：億円)

売上高	722.50	2.3
営業利益	4.38	▲74.7
経常利益	3.43	▲78.2
四半期純利益	3.63	▲71.1

下段は前年同期比(%)

▲はマイナス

## 古河機械金属

古河機械金属が発表した19年3月期中間連結決算は、売上高が前年同期比7.7%増加、一方、営業利益と経常利益は減益だった。金属部門では、電気銅が販売数量の減少が減益だった。金属部門では、電気銅が販売数量の減少が銅相場の上昇で補った。また、電気金は生産数量が増加した。一方、買鉱条件の悪化や金価格の下落を受け、営業減益だった。

(単位：億円)

売上高	862.58	7.7
営業利益	39.05	▲1.0
経常利益	42.18	▲11.2
四半期純利益	29.64	11.2

下段は前年同期比(%)

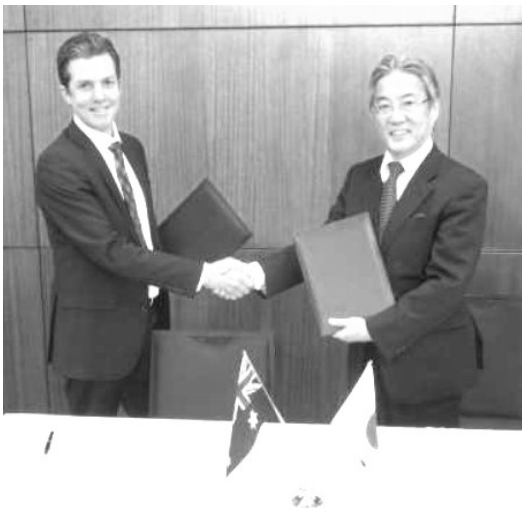
▲はマイナス

# JOGMEC オーストラリアの総合研究機関と協力合意

## 非在来型資源およびCCUSで共同研究

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC、細野哲弘理事長) は、16日、ダーウィン (オーストラリア連邦) で、オーストラリア連邦科学産業研究機構 (CSIRO) と石油・天然ガス分野での非在来型資源および二酸化炭素の回収・利用・貯蔵 (CCUS) などの共同研究を進めることに合意、協力覚書 (MOU) を締結したと発表。

CSIROは、同連邦産業・イノベーション・科学省傘下の総合研究機関で連邦最大規模。産業分野への応用や公益につながる国家的課題の研究開発を行っている。



調印式 (左: Timothy Finnigan CSIRO エネルギー本部長、右: 細野理事長)

# 故銅・銅滓 アルミ原料

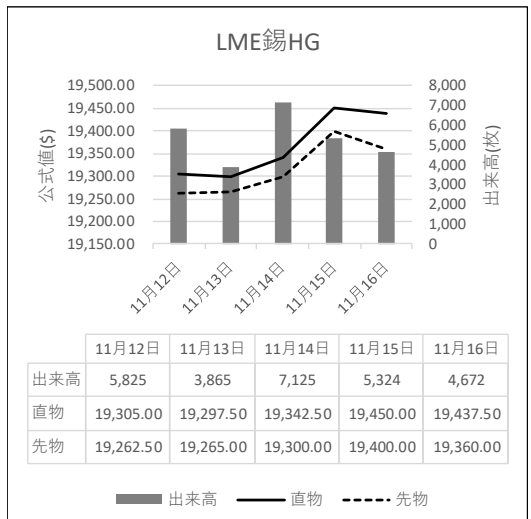
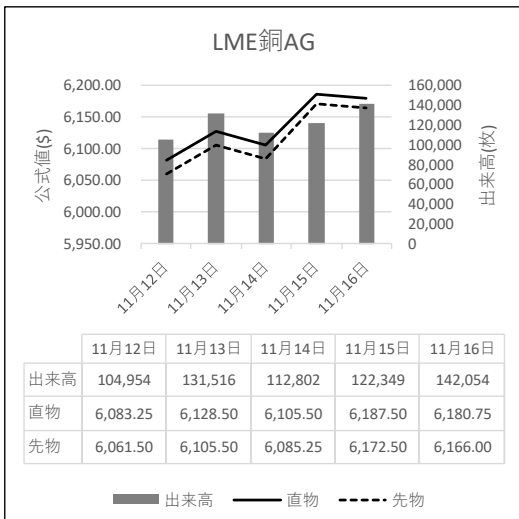
高価即金買入  
——ご照会を乞う。

## 森下商店

大阪市西成区南津守 7-12-46  
TEL (06)6659-5577~8  
FAX (06)6659-5579

オーストラリア連邦は、日本の重要なLNG供給国でJOGMECがイクシスLNGプロジェクトやウィートストーンLNGプロジェクトを支援、また、コールドベッドメタンやシェールガスなど非在来型資源の開発に積極的で、経済性を向上させる効果的・効率的な技術開発を必要としている。さらに、同連邦に豊富な埋蔵褐炭を水素エネルギーに転換する世界初となる事業の検討が日本との間で進められており褐炭からの水素製造過程で排出される二酸化炭素を低減するためのCCUSを本格導入する技術の開発が求められている。

### ┃ LME公式値週間推移 11月12日~11月16日 (現地)



# 故銅市況

前週末17日入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場の直物相場売値が、前日の6,188.00ドルより7.00ドル安の6,181.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,212.00ドルより18.50ドル高の6,230.50ドル。カーブ取引は前日の6,183.00ドル～6,184.00ドルより22.00ドル高の6,205.00ドル～6,206.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（11月限）は前日の274.90セントより5.50セント高の280.40セント。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（12月限）は、前日の4万9,200元より330元高の4万9,530元。

週明け19日の東京為替市場TTSレートは、前週末の114.65円より0.88円の円高ドル安で1ドル＝113.77円。NYカーブLME先物比は32.00ドル高。17日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,181.00ドル。この値と19日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前週末の74万9,000円より6,000円安の74万3,000円。この日、電気銅建値は75万円に据え置かれた。

## 故銅直納問屋筋の平均値頃感（単位は千円）

直納問屋筋によるロット物（5トン前後）の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が619～624、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは600～605、並銅は539～544、込銅（高品位＝約97%）は499、セパは547～552。コーペルは要り用筋で478、それ以外は470ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋433、それ以外416～441どころの値頃。並青銅鋳物削粉は468～473どころ。

小口市相相場（1トン前後）では、ピカ線が602～607、上銅新くずが589～609、普通上銅が556～566、2号銅線が562～572、並銅が527～528、込銅（90-93%）が486～453、下銅が288～338、セパが514～524、コーペルが470～510、黄銅棒地が466～471、黄銅削粉が374～421、黄銅ラジが411～419、交叉ラジが340～351、黄銅銅鋳物が374～381、送りが189～204、上青銅鋳物が478～494、並青銅鋳物が470～483、上青銅鋳物削粉が475～494、並青銅鋳物削粉が468～472どころ。

## 為替動向

19日午前の東京外国為替市場で円相場は1ドル＝112円台に上昇した。午前9時の気配値は、1ドル＝112.71円～112.74円、前週16日の17時時点に比べ0.58の円高・ドル安。

16日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル＝112.80～112.90円、前日の同時刻比0.40円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.80円の円高・ドル安、1ドル＝112.77円～112.87円で取引を終了した。

米連邦準備制度理事会（FRB）のクラリダ副議長の発言が材料となった。副議長は、メディアのインタビューの中で、世界経済が減速しつつある状況であると懸念を示唆。その上で、米国の政策金利については、景気を過熱も冷やしもしない「中立金利」に近づいていると述べた。ニューヨーク市場では、FRBが利上げペースを緩慢化させるとの見方から、円買い・ドル売りが進んだ。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.65円～113.20円だった。

東京市場では、前週のFRB副議長の発言を受け、日米金利差縮小をにらんだ円買い・ドル売りが朝方から先行した。アジア太平洋経済協力会議（APEC）で米中対立が顕在化したことも、リスク回避の円買いにつながっているもよう。

減摩合金・各種ハンダ  
鉛滓・錫滓の精錬

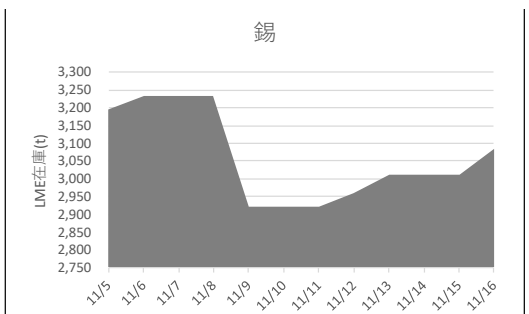
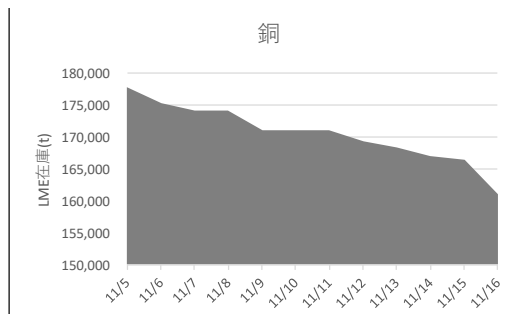
中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)

 LME認定倉庫在庫量推移 11月5日～11月16日（現地）





**LME銅は反落 概ねレンジ内で推移**  
**カーブ取引は続伸 COMEX銅相場も続伸 SHFE銅相場も続伸**  
**LME非鉄相場総じて軟化 鉛は続伸 アルミ在庫は3営業日の積み増し**

17日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,187.50ドルより6.75ドル安の6,180.75ドル、この週1.53%の上伸。3か月物も、前日の6,172.50ドルより6.50ドル安の6,166.00ドル、この週1.59%の上伸。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の16万6,000トンより約5,000トン減のおよそ16万1,000トン、この週5.86%の減。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（11月限）は、前日の274.90セントより5.50セント高の280.40セント、この週11.75セントの上伸。カーブ取引は、前日の6,183.00ドル～6,184.00ドルより22.00ドル高の6,205.00ドル～6,206.00ドル、この週2.48%の上伸。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（12月限）は、前日の4万9,200元より330元高の4万9,530元、この週0.39%の上伸。

**錫は反落**

LME錫相場の直物は、前日の1万9,450.00ドルより12.50ドル安の1万9,437.50ドル、この週0.71%の上伸。3か月物も、前日の1万9,400.00ドルより40.00ドル安の1万9,360.00ドル、この週0.49%の上伸。

**鉛は続伸**

LME鉛相場の直物は、前日の1,942.00ドルより17.00ドル高の1,959.00ドル、この週0.15%の上伸。3か月物も、前日の1,964.25ドルより7.75ドル高の1,972.00ドル、この週0.48%の下落。

**アルミ二次合金メーカー買値実勢値**

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

**関東地区(11月前半)**

2S=194円～202円、63S=191円～195円、アルミホイール(1P)=186円～191円、ビス付サッシ=140円～144円、エンジンコロ=146円～148円、込合金(機械鋳物)=142円～144円、缶プレス(ソフト)=109円～123円。

**関西地区(11月前半)**

2S=189円～197円、63S=187円～191円、52S=199円～203円、印刷版=192円～197円、アルミホイール(1P)=175円～180円、ベースメタル=199円～204円、機械鋳物=146円～151円、ダライ粉=118円～120円、ビス付サッシ=141円～146円、缶プレス=124円～129円。

**亜鉛くず 現金高価買受け**  
**亜鉛ドロス・滓 ご照会乞う**

**再生亜鉛精錬**

**日進産業株式会社**

代表取締役 星山えり

〒 580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974

**亜鉛は反落**

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,654.50ドルより14.00ドル安の2,640.50ドル、この週3.33%の上伸。3か月物も、前日の2,583.75ドルより15.25ドル安の2,568.50ドル、この週3.12%の上伸。

**アルミは続落 アルミ合金は反落 北米特殊アルミ合金はまちまち**

LMEアルミ相場の直物は、前日の1,916.50ドルより2.75ドル安の1,913.75ドル、この週2.56%の下落。3か月物も、前日の1,940.25ドルより9.25ドル安の1,931.00ドル、この週2.04%の下落。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,380.00ドルより5.00ドル安の1,375.00ドル、この週1.48%の上伸。3か月物も、前日の1,402.50ドルより7.50ドル安の1,395.00ドル、この週0.72%の上伸。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,381.50ドルより3.50ドル高の1,385.00ドル、この週0.11%の下落。3か月物は、前日の1,390.00ドルより2.50ドル安の1,387.50ドル、この週横ばい。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ105万8,000トンより約8,000トン増のおよそ106万6,000トン、この週1.02%の増。

**ニッケルは反落**

LMEニッケル相場の直物は、前日の11,337.50ドルより60.00ドル安の11,277.50ドル、この週1.64%の下落。3か月物も、前日の11,445.00ドルより77.50ドル安の11,367.50ドル、この週1.71%の下落。

LME公式値（単位：ドル）／11月16日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,180.75	19,437.50	1,959.00	2,640.50	1,913.75	1,375.00	1,385.00	11,277.50
	前営業日比	▲ 6.75	▲ 12.50	17.00	▲ 14.00	▲ 2.75	▲ 5.00	3.50	▲ 60.00
	週間増減比	1.53%	0.71%	0.15%	3.33%	▲2.56%	1.48%	▲0.11%	▲1.64%
先物	公式値	6,166.00	19,360.00	1,972.00	2,568.50	1,931.00	1,395.00	1,387.50	11,367.50
	前営業日比	▲ 6.50	▲ 40.00	7.75	▲ 15.25	▲ 9.25	▲ 7.50	▲ 2.50	▲ 77.50
	週間増減比	1.59%	0.49%	▲0.48%	3.12%	▲2.04%	0.72%	0.00%	▲1.71%

海外非鉄金属相場

(11月17日 入電・現地 11月16日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: Item, 前買, 場売, 後買, 場売. Rows include 銅A G, 錫H G, 鉛, 亜鉛S H G, アルミH G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

フリー・マーケット
■米国生産者価格
銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)H H社 1436.0

■NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

■ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 1222.4
アンチモン99.6%(トン) 8300 - 8400
ビスマス99.99%(ポンド) 4.10 - 4.50
カドミウム99.99%(ポンド) 1.20 - 1.30
インジウム99.97%(キロ) 195 - 245
セレンウム99.5%(ポンド) 14.00 - 15.00
スポンジチタン99.5%(キロ) 6.00 - 7.00
フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.20
コバルトカソード99.8%(ポンド) 33.00 - 34.00
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2600 - 2675
タングステンAPT(MTU単位) 280 - 290
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 85 - 90

■K L T M錫(Mドル/キロ、出来高トン)
(16日) (19日)
相場 81.20 81.51
出来高 27 25
ドル建て価格 19370 19450
O Dレート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.1920 4.1906
採算円/キロ 2481 2471
U S \$採算円/キロ 2225 2217

L M E 在庫(トン)
在庫 増減
銅 161,025 ▲ 5,425
錫 3,085 75
鉛 110,575 ▲ 325
亜鉛 124,450 ▲ 950
アルミ 1,066,350 8,225
アルミ合金 12,660 ▲ 200
北米特殊A L 合金 139,640 ▲ 520
ニッケル 215,442 ▲ 732

コメックス銅在庫(トン) 146,176 ▲ 1,566

上海在庫(トン)
銅 134,744 ▲ 7,490
アルミ 765,353 ▲ 15,455
亜鉛 39,675 2,297
鉛 8,845 ▲ 589

NYカーブ
銅 6241.50 ~ 6242.50 40.50
アルミ 1946.00 ~ 1947.00 9.00

NYコメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
銅HG 金 銀 プラチナ パラジウム
11月限 280.40 1220.8 1435.8 843.6 1171.20
12月限 279.85 1223.0 1438.2 844.8 1154.60
1月限 280.35 1226.4 1442.2 846.6 1152.40
2月限 280.85 1229.0 - - -
3月限 281.00 - 1450.9 - 1149.40
前日比 5.50 8.0 12.1 1.3 17.20
出来高 123,252 264,671 90,196 - 6,810

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛
12月限 49530 13705 21710 18415
1月限 49580 13740 21430 18125
前日比 330 ▲ 10 345 ▲ 140
出来高 74270 42046 121988 37318

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

為替相場 LME (円ベース/キロ) COMEX 上海
銅 錫 鉛 亜鉛 アルミ ニッケル 銅 銅 アルミ 亜鉛 鉛
ドル・円 6181 19450 1960 2641 1914 11280 280 49530 13705 21710 18415
T T S 6220 2413 260 340 229 1483 748 828 229 363 308
-0.88 + 5472 - 20 + 1 - 3 - 2 - 16 + 8 + 7 + 0 + 7 - 1

**非鉄金属製品相場**

(11月19日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	980	1010	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	990	1020	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1150	1210	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1190	1200	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	850	890	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	950	1010	<b>軽圧品(仲値)</b>	大阪	東京
銅条1.5×100	960	1010	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	1040	1070	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	960	1010	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1240	1250	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	820	840	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	845	860	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	1000	1050	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1395	1350	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1345	1370	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	660	700	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	690	730			
四角棒	720	760	<b>貴金属(一般小口向け)</b>		
鍛造用	700	740	白金(グラム)	◆ 3414	
ネーバル	800	840	パラジウム(グラム)	◎ 4714	
高力	800	840	金(グラム)	◆ 4840	
黄銅線6ミリ	1070	1120	銀(キログラム)	◎ 59500	
黄銅平角線ロール仕上	1260	1325			
黄銅条1.5×100	815	865	<b>レアメタル輸入価格</b>	9月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	236	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2218	
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	タンタル	52046	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	283	
洋白板一般用1.0ミリ	2690	2670	コバルト	9670	
〃 バネ用1.0ミリ	2880	2860	インジウム	30619	

合金鉄		9月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有		135
〃 その他		271.5
フェロシリコン55%以上		170
フェロクロム4%以上炭素含有		153.9
フェロモリブデン純分60%以上		2028
フェロバナジウム		6649
フェロニッケル33%未満		427.4
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ		326

減摩合金 (500kg以上、大口価格)	11月16日改定		銅合金地金 (標準価格)	11月16日発表	
	大阪	東京		大阪	東京
1種	2705		BC 1種	800	—
2種	2635		2種	980	—
3種	2560		3種	1025	—
4種	2260		6種	855	—
5種	2180		7種	895	—
7種	885		YBSC 3種	705	—
8種	795		LBC 3種	990	—
9種	710		PBC 2種	1045	—

